

モデル計画 C：出産をきっかけに退職する女性社員が多いため、出産前後の支援を強化したい会社

_____ 行動計画

社員の働き方を見直し、特に女性社員の継続就業者が増えるよう、妊娠・出産・復職時における支援に取り組むため、次のように行動計画を策定する。

1. 計画期間 年 月 日～ 年 月 日までの 年間

2. 内容

目標 1：男性の育児休業取得期間2週間以上の割合を〇割以上とする

<対策>

- 年 月～ 各職場における休業者の業務カバー体制の検討（代替要員の確保、業務体制の見直し、複数担当者制、多能工化など）・実施
- 年 月～ 育児休業取得開始日から10日間を有給とする制度を導入する

目標 2：従業員のうち、25歳～39歳の社員の計画期間内における平均時間外・休日労働時間を計画期間前より30%削減する。

<対策>

- 年 月～ 管理職を対象とした意識改革のための研修を〇〇回実施
- 年 月～ 業務量の見直し、DX化による事務の効率化などの取組実施
- 年 月～ 各部署における問題点の検討及び研修の実施

目標 3：子育て費用の助成制度を導入する。

<対策>

- 年 月～ 助成制度の内容に関する社員への意見聴取、検討開始
- 年 月～ 制度導入、社内報などによる社員への周知

目標 4：育児休業を取得予定の社員及び育児休業から復職した社員に対するメンター制度を導入する。

<対策>

- 年 月～ 制度の内容に係る社員への意見聴取、検討開始
- 年 月～ 運用ルールの検討、メンター選定
- 年 月～ 運用ルールの決定、メンター研修の実施
- 年 月～ 制度導入、社内報などによる社員への周知